

3 総評

令和元年度に執行された佐渡市教育委員会の所管事業の事業内容及び内部評価について、事務点検評価者として次のとおり総評する。

- (1) 一部にコロナ禍や気象条件等で目標に達しなかった事業があるものの、担当課においては、限られた予算と人員のなかでさまざまな事業展開を行い、全体を通して概ね期待した成果があったものと認められる。
- (2) 昨年までの点検・評価の内容が、的確に事業の展開や予算に反映されているのか、担当課による自己評価のランクは示されているものの、判断しづらいものがあった。評価票の記述にそうしたことも触れてほしい。
- (3) 指標及び目標値の設定に当たっては、数値の設定が難しいところもあるが、教育大綱改定に合わせて、項目として何が適切かを十分吟味し精査して選定するよう心がけてほしい。
- (4) 事業計画を進める上で様々な課題が見えてくるが、担当課へのヒアリングを通して、真摯に向き合い、意欲的に取り組む姿勢が感じられた。今後さらに教育委員が積極的に学校や社会教育の現場などに足を運び、教職員、児童生徒、一般市民などの姿をみたり声を聞き、事業改善や展開につなげてほしい。

【項目別の主な評価、意見】

(1) 自校給食・給食センター管理運営事業

教育委員会と農業政策課との連携が進んでおり、注文のシステム化等具体的な対策が進められている。このような課をまたいだ取組の推進に期待したい。

(2) IT設備整備事業

IT整備事業が市の予算化を受けて推進されていることを評価したい。機器の整備とともに、それを効果的に活用できる支援体制(人的)の整備も進めてほしい。

(3) 心の教育支援事業

不登校傾向の児童生徒に対する支援事業は、長いスパンでの対応が必要であり、早急な成果も期待できないものの、学校・家庭・地域が一体となって取り組む重要な課題である。今後も重点課題として予算と人員の確保に努めてもらいたい。

(4) 生涯学習事業・公民館活動推進事業

地域の人材の活用、ボランティア等市民参加の仕組みづくりを進めてほしい。

(5) 博物館・資料館管理運営事業

学校教育現場における博物館資料等の活用を更に推進されたい。

(6) 世界遺産登録推進事業

世界遺産登録に向けた現状と課題が見えづらい。市民の意識醸成がどのように役立つのか、どこまで高めれば良いのか等分かると、取組の質も変わってくるのではないかと。

(7) 世界遺産登録推進事業・ジオパーク推進事業・(ジラス)

世界遺産、ジオパーク、ジラスは1つ1つが独立しているものではない。それぞれがお互い関連し合っているため、それらを総括して評価することも検討し、この評価全体に厚みを持たせてもらいたい。

(8) 文化財管理事業

指定文化財、特に無形民俗文化財の保存・伝承が厳しい状況下にある。補助事業なども活用しながら早急な対応を進めてほしい。

(9) 児童援助事業・生徒援助事業

貧困に対する対策は行われているが、近年増えている虐待に対する対応についても、調査と対策（各機関の連携）が必要ではないかと。